

至誠館大学

科目名	権利擁護と成年後見			コード			
英語表記							
担当教員名	伊藤孝司			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択		
①国民の基本的人権はまさに憲法によって保障されている。 ②国家による国民への福祉サービスの関係は行政法規によってなされている。 ③成年後見法の実態は、民法と任意後見契約に関する法律という特別法によって規律されている。 ④意思表示の補完とその関連は民法の総則編に、後見関連は親族編におかれている。 ⑤成年後見制度は法務省、裁判所、厚生労働省や社会福祉の領域の諸制度の解説に及んでいる。							
到達目標							
社会福祉士や精神保健福祉士は、日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することになる。とすると、「支援や保護」の名のもとに人権侵害をしてしまうということが起こりうる。相手の立場に立って考えることのできる鋭い人権感覚を身につけてもらいたい。							
授業計画							
第1回	相談援助の活動と法						
第2回	日本国憲法の理解						
第3回	日本国憲法の理解						
第4回	行政法の理解						
第5回	民法の理解						
第6回	民法の理解						
第7回	社会福祉関連法の理解、成年後見制度						
第8回	保佐の概要 補助の概要、申し立ての流れ						
第9回	任意後見制度、成年後見人等の義務と責任、成年後見制度の最近の動向と課題						
第10回	日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業、その他財政支援の活用						
第11回	権利擁護にかかわる組織・団体、権利擁護にかかわる専門職の役割						
第12回	成年後見の実際、認知症のある方・消費者被害を受けた者への対応の実際						
第13回	障害児・者への支援の実際、市町村長申し立てのケースへの対応の実際						
第14回	権利擁護活動の実際、被虐待児・高齢者虐待・アルコール等依存症への対応の実際						
第15回	非行少年・ホームレスの人・多問題重複ケースへの対応の実際						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
記述試験とします。100点満点で60点以上が合格			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30		70	
授業外学習			テキスト、教材				
			新・社会福祉士養成講座 第19巻「権利擁護と成年後見制度」 第4版 中央法規出版				
参考書			受講生へのメッセージ				
①伊藤真の憲法入門【日本評論社】 ②はじめての憲法総論・人権【尾崎哲夫・自由国民社】 ③はじめての親族相続【尾崎哲夫・自由国民社】 ④成年後見と身上配慮【上山奏・日本社会福祉士会簡井書房】			社会福祉援助の実践に当たって、日常生活の中の民法はなくてはならない判断の指針になります。日々の生活の中で民法を意識してみましょう。				
キーワード							
「人権擁護感覚」							